

2025年5月期の業績予想につきましては、現時点で合理的な業績予想の算定ができないことから記載しておりません。
 なお、当該理由などは、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」に記載しております。

※ 注記事項

（1）期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
 新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

（2）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

（3）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年5月期	6,693,500株	2023年5月期	6,614,600株
② 期末自己株式数	2024年5月期	668,297株	2023年5月期	697,297株
③ 期中平均株式数	2024年5月期	5,997,195株	2023年5月期	5,576,369株

（参考） 個別業績の概要

1. 2024年5月期の個別業績（2023年6月1日～2024年5月31日）

（1）個別経営成績（%表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年5月期	1,565	139.8	195	—	359	—	297	—
2023年5月期	653	△12.0	△1,561	—	△1,303	—	△1,325	—

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2024年5月期	45.00	—
2023年5月期	△213.37	—

（2）個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭		
2024年5月期	7,193	—	2,028	—	13.1	142.68		
2023年5月期	6,907	—	1,710	—	7.2	75.97		

（参考） 自己資本2024年5月期945百万円2023年5月期498百万円

2. 2025年5月期の個別業績予想（2024年6月1日～2025年5月31日）

（%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
第2四半期（累計）	—	—	—	—	—	—	—	
通期	—	—	—	—	—	—	—	

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

2025年5月期の業績予想につきましては、前述のとおり、記載しておりません。本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な不確定要素により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	4
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	5
3. 連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 連結貸借対照表	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	8
連結損益計算書	8
連結包括利益計算書	10
(3) 連結株主資本等変動計算書	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	15
(継続企業の前提に関する注記)	15
(会計方針の変更)	15
(セグメント情報等)	16
(1株当たり情報)	20
(重要な後発事象)	21

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度(2023年6月1日～2024年5月31日)における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による行動制限が撤廃され、訪日外国人数の増加や個人消費の持ち直しの動きなど、経済活動の正常化が進み、全体的に緩やかな回復の傾向がみられています。一方で、ロシアによるウクライナ侵攻や中東情勢の悪化といった地政学的なリスクの顕在化に伴う緊張感の高まりや、原材料費・エネルギー価格などの高騰に加えて、記録的な水準で円安が進行するなど、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の中、当社及び連結子会社(以下、「当社グループ」という。)のゲーム事業セグメントが属するモバイルゲーム市場におきましては、2023年の世界の市場規模は、8兆7,916億円と推計され、2021年まで一貫して市場拡大を続けてきましたが、2022年から2年連続のマイナスという結果となりました。巣ごもり需要で底上げされた市場規模が落ち着き、すでにアジアや北米では市場成熟期に入っておりますが、生活に密着したスマートフォンというデバイスの特性を踏まえると、急激な市場縮小の可能性は低いと思われまます。(出典:『ファミ通モバイルゲーム白書2024』株式会社角川アスキー総合研究所)

この結果、当社グループの当連結会計年度の業績は、売上高12,274百万円(前期比76.3%増加)、営業利益1,870百万円(前期比667.4%増加)、経常利益1,943百万円(前期比809.6%増加)、親会社株主に帰属する当期純利益1,441百万円(前期比44.1%減少)となりました。

当連結会計年度のセグメントごとの業績は次のとおりであります。

1. ゲーム事業

2023年11月リリースの「東方幻想エクリプス」につきましては、事前登録者数が20万人を超え、ダウンロード数も想定を大幅に上回りました。メインストーリーの追加や期間限定イベントの開催、新規機能の実装等、ユーザーの満足度向上のための施策を実施いたしました。また、当社の得意とする弹幕シューティングゲームとして、様々なプレイモードを用意し、シューティング初心者の方にも、熟練のユーザーの方にもそれぞれのプレイスタイルやレベルに応じて楽しんで頂けるよう、取組みを進めてまいりました。リアルイベントとして、東京国際展示場(東京ビッグサイト)にて開催されました「第二十一回博麗神社例大祭」に出展し、キャラクターイラストを使用したオリジナルグッズの販売や試遊スペースの提供を行い、ゲームの魅力伝えるとともに、認知度の向上を図りました。2024年5月22日にハーフアニバーサリーを迎え、今後もユーザーの定着や継続率の向上を重視し、長期的に楽しんで頂けるコンテンツを目指して参ります。

「ゴシックは魔法乙女～さっさと契約しなさい!～」につきましては、9周年記念イベントや過去の自社コンテンツとのコラボイベントである「弹幕五重奏」を実施し、リアルグッズを展開する等、ユーザーに楽しんで頂ける施策を実施いたしました。今後、「東方幻想エクリプス」とのコラボイベントも予定されており、新規流入施策にも注力しております。

また、連結子会社である株式会社でらゲーでは、主要ゲームである「モンスターストライク」や「キングダム乱-天下統一への道-」が安定的に推移し、当社グループの業績に大きく貢献しております。

これらの結果、ゲーム事業セグメントにおける売上高は12,026百万円(前年同期比82.2%増加)となり、セグメント利益は1,938百万円(前期比527.0%増加)となりました。

2. 動画配信関連事業

連結子会社である株式会社capableのライブ配信事業につきましては、ライブ配信プラットフォームの多様化、ライバーの急速な増加などにより競争が激化しております。ライバー管理業務の複雑化に伴う利益率の悪化に対応するため、効率的な運営体制を構築し、利益率の向上を図ることで、引き続き一定の利益を確保してまいります。

YouTube事業については、主力コンテンツにおける広告収入が引き続き、堅調に推移をしております。また、同社における新規事業施策の一環として店舗型事業を取得いたしました。同社の持つSNSマーケティングのノウハウを活かし、インバウンド需要の取込を行うことで、新たな収益源の確保に努めております。

DtoC事業においては、既存在庫の販売に注力し、売上の創出に取り組んでまいりましたが、今後の需要予測、競合商品の動向、季節性の影響などを総合的に検討した結果、当連結会計年度にて事業から撤退し、新規事業へとリソースの移行を行いました。

これらの結果、動画配信関連事業セグメントにおける売上高は247百万円（前年同期比32.0%減少）となり、セグメント損失は67百万円（前期はセグメント損失65百万円）となりました。

（2）当期の財政状態の概況

（総資産）

当連結会計年度末における総資産は、前連結会計年度末に比べて864百万円増加し14,357百万円となりました。主な内訳は、現金及び預金6,341百万円、売掛金905百万円、前払費用237百万円、未収入金687百万円、ソフトウェア383百万円、ソフトウェア仮勘定2,360百万円、投資有価証券1,035百万円、長期貸付金875百万円、保険積立金737百万円です。

（負債）

当連結会計年度末における負債は、前連結会計年度末に比べて799百万円減少し7,604百万円となりました。主な内訳は、買掛金680百万円、未払金1,077百万円、未払法人税等360百万円、未払消費税等89百万円、契約負債171百万円、長期借入金771百万円、長期未払金3,400百万円、繰延税金負債402百万円です。

（純資産）

当連結会計年度末における純資産は、前連結会計年度末に比べて1,664百万円増加し6,752百万円となりました。主な内訳は、資本金182百万円、資本剰余金623百万円、利益剰余金5,255百万円、自己株式△1,202百万円、新株予約権1,083百万円、非支配株主持分696百万円です。

（3）当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、6,334百万円となりました。当連結会計年度末における各キャッシュ・フローの状況及びこれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果増加した資金は、569百万円となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益1,890百万円に売上債権の減少額247百万円及び仕入債務の増加額79百万円の収入要因がありましたが、未払消費税の減少額325百万円、未収入金の増加額228百万円、未払金の減少額110百万円、法人税等の支払額857百万円の支出要因があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果減少した資金は、703百万円となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出1,393百万円、長期貸付による支出157百万円の支出要因がありましたが、投資不動産の売却による収入443百万円、貸付金の回収による収入252百万円、保険積立金の解約による収入156百万円の収入要因があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果増加した資金は、31百万円となりました。これは主に、長期借入れによる収入39百万円、新株予約権の行使による株式の発行による収入95百万円、株式の発行による収入46百万円の収入要因がありましたが、長期借

入金の返済による支出148百万円の支出要因があったことによるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2020年5月期	2021年5月期	2022年5月期	2023年5月期	2024年5月期
自己資本比率	68.0	57.4	31.2	23.8	34.6
時価ベースの自己資本比率	492.6	386.8	381.4	100.3	64.7
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	128.3	—	—	43.0	173.2
インタレスト・カバレッジ・レシオ	—	—	—	296.7	54.0

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

(注1) 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

(注2) 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数により算出しております。

(注3) キャッシュ・フローは、営業キャッシュ・フローを利用しております。

営業キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いにつきましては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(注4) 2021年5月期及び2022年5月期の連結キャッシュ・フロー対有利子負債比率につきましては、営業キャッシュ・フローがマイナスのため記載を省略しております。

(4) 今後の見通し

2025年5月期においては、連結子会社である株式会社でらゲーの主要ゲームである「モンスターライク」や「キングダム乱 -天下統一への道-」が安定的に推移し、グループ収益に大きく貢献すると考えております。同社が株式会社テレビ朝日及び株式会社ファンクルーとの間で組成をいたしました製作委員会において開発を進めているスマートフォンゲーム「メテオアリーナ」は、当社取締役の岡本吉起が総合プロデューサーをつとめております。リリースは、2024年夏を予定しており売上の増加に寄与するものと考えております。

当社コンテンツの「東方幻想エクリプス」においては、追加機能の実装、期間限定イベントやコラボイベントの開催を通じて、ユーザーの定着を図り、長期的に遊んでいただけるコンテンツを目指しており、当社の売上獲得の柱になると考えております。

また、当社グループの成長を、より確実性の高いものとし、企業価値を向上させるために、ゲーム事業以外の収益源の獲得を目的として、2024年6月28日に子会社化いたしました株式会社サクセスプラスは、受託事業を中心に安定的な収益が期待されます。

一方、ゲーム事業におけるコンテンツのリッチ化やクオリティの追求により開発費の増加が想定され、「メテオアリーナ」においては、運営状況により流動的ではありますが、リリースにともなうプロモーション費用の増加が見込まれます。

当社グループにおいては、現在、その他にも、複数のプロジェクトが進行中であります。当社の「東方幻想エクリプス」においては、海外展開の可能性につき検討する方針となっており、当社の連結子会社においては、「ストーリーファイターシリーズ」などヒットタイトルを手掛けたクリエイターが集結し、当社取締役の岡本吉起が中心となっており、「カミツクプロジェクト(仮)」が進行中です。

また、次世代のゲーム体験の創出やWeb3.0領域での中長期的な成長を目的として、ブロックチェーン技術を使ったゲーム開発やNFT関連事業への投資を行っております。

以上を踏まえ2025年5月期の業績見通しにつきましては、ゲーム事業の事業環境が短期的に激しく変化することから現時点におきまして信頼性の高い半期及び通期の業績予想を算出することは困難であると考えており、非開示とさせていただきますが、2024年5月期と比較して、増収、増益を目指して参ります。

したがって2025年5月期の業績予想につきましては、当面の進捗状況を踏まえ、合理的な業績見通しの算定が可能

になった時点で速やかに開示いたします。

- (5) 継続企業の前提に関する重要事象等
該当事項はありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、国際財務報告基準（IFRS）の適用時期等につきまして、我が国における適用動向を注視している状況であり、今後の適用については未定であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当連結会計年度 (2024年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,283,751	6,341,863
売掛金	1,149,848	905,112
商品及び製品	58,384	929
仕掛品	-	49,561
貯蔵品	241	925
前払費用	243,711	237,030
未収入金	564,822	687,772
短期貸付金	156,940	69,511
未収還付法人税等	-	23,629
その他	329,179	238,469
貸倒引当金	△217,720	-
流動資産合計	8,569,160	8,554,804
固定資産		
有形固定資産		
建物	251,712	265,029
減価償却累計額	△171,469	△188,297
建物(純額)	80,242	76,732
車両運搬具	100,405	83,385
減価償却累計額	△89,393	△77,362
車両運搬具(純額)	11,011	6,023
工具、器具及び備品	249,550	258,106
減価償却累計額	△195,040	△167,230
工具、器具及び備品(純額)	54,510	90,875
土地	2,999	2,999
有形固定資産合計	148,763	176,630
無形固定資産		
ソフトウェア	-	383,454
ソフトウェア仮勘定	1,551,675	2,360,486
その他	1,240	1,240
無形固定資産合計	1,552,915	2,745,181
投資その他の資産		
投資有価証券	996,131	1,035,029
出資金	42,108	64,010
関係会社株式	129,823	66,044
長期貸付金	1,040,601	875,841
関係会社長期貸付金	321,000	332,770
敷金	116,852	112,105
差入保証金	26,836	29,983
投資不動産	393,883	-
保険積立金	897,472	737,784
繰延税金資産	-	41,939
その他	15,009	234,493
貸倒引当金	△758,087	△649,381
投資その他の資産合計	3,221,631	2,880,620
固定資産合計	4,923,310	5,802,432
資産合計	13,492,471	14,357,237

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年5月31日)	当連結会計年度 (2024年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	759,407	680,030
短期借入金	60,000	60,000
1年内返済予定の長期借入金	144,000	152,724
未払金	562,585	1,077,216
未払費用	218,228	347,140
未払法人税等	737,002	360,796
未払消費税等	430,035	89,127
契約負債	109,784	171,733
預り金	53,928	60,707
その他	14,698	27,778
流動負債合計	3,089,670	3,027,254
固定負債		
長期借入金	888,000	771,199
長期末払金	4,000,000	3,400,000
長期前受収益	33,000	-
繰延税金負債	356,902	402,397
その他	37,230	4,107
固定負債合計	5,315,132	4,577,704
負債合計	8,404,803	7,604,958
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,078,622	182,136
資本剰余金	1,055,236	623,088
利益剰余金	1,297,734	5,255,967
自己株式	△1,238,805	△1,202,062
株主資本合計	3,192,787	4,859,130
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△22,440	7,585
為替換算調整勘定	40,430	105,529
その他の包括利益累計額合計	17,990	113,114
新株予約権	1,212,679	1,083,939
非支配株主持分	664,209	696,093
純資産合計	5,087,668	6,752,278
負債純資産合計	13,492,471	14,357,237

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)	当連結会計年度 (自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)
売上高	6,963,436	12,274,200
売上原価	3,479,053	6,828,815
売上総利益	3,484,383	5,445,385
販売費及び一般管理費		
回収費	538,880	1,282,484
広告宣伝費及び販売促進費	202,362	436,625
外注費	129,014	184,001
役員報酬	200,950	537,020
株式報酬費用	1,394,640	-
給料及び手当	88,604	109,530
研究開発費	122,907	209,805
地代家賃	94,386	78,173
保険料	110,213	196,462
支払手数料	52,495	56,606
支払報酬	109,826	130,520
その他	196,373	353,689
販売費及び一般管理費合計	3,240,655	3,574,920
営業利益	243,728	1,870,464
営業外収益		
受取利息	24,617	23,861
貸倒引当金戻入額	-	226,657
持分法による投資利益	2,982	2,547
為替差益	11,246	-
受取解決金	28,000	-
経営指導料	50,000	-
その他	30,311	85,702
営業外収益合計	147,158	338,768
営業外費用		
支払利息	41,697	55,902
為替差損	-	41,112
新株予約権発行費	2,238	-
減価償却費	40,546	74,335
匿名組合投資損失	70,275	58,208
その他	22,494	36,420
営業外費用合計	177,253	265,980
経常利益	213,632	1,943,253

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)	当連結会計年度 (自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)
特別利益		
投資不動産売却益	-	135,398
投資有価証券売却益	22,317	-
負ののれん発生益	2,635,237	-
企業結合に係る特定勘定取崩益	120,000	-
特別利益合計	2,777,555	135,398
特別損失		
減損損失	-	131,664
投資有価証券評価損	25,575	15,153
関係会社株式評価損	91,065	-
固定資産除却損	2,714	633
事業撤退損	-	40,785
特別損失合計	119,355	188,237
税金等調整前当期純利益	2,871,832	1,890,415
法人税、住民税及び事業税	741,384	474,832
法人税等調整額	△438,905	△12,161
法人税等合計	302,479	462,671
当期純利益	2,569,353	1,427,744
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	△10,108	△14,207
親会社株主に帰属する当期純利益	2,579,462	1,441,952

連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)	当連結会計年度 (自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)
当期純利益	2,569,353	1,427,744
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△22,440	30,025
為替換算調整勘定	35,308	65,098
その他の包括利益合計	12,868	95,124
包括利益	2,582,222	1,522,868
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	2,592,330	1,537,076
非支配株主に係る包括利益	△10,108	△14,207

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,389,850	366,464	△1,281,727	△47,242	427,344
当期変動額					
新株の発行	688,771	688,771	—	—	1,377,543
資本金から剰余金への振替	—	—	—	—	—
欠損填補	—	—	—	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	2,579,462	—	2,579,462
自己株式の取得	—	—	—	△1,191,563	△1,191,563
自己株式の処分	—	—	—	—	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	—	—	—	—
当期変動額合計	688,771	688,771	2,579,462	△1,191,563	2,765,442
当期末残高	2,078,622	1,055,236	1,297,734	△1,238,805	3,192,787

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	—	5,121	5,121	565,091	26,195	1,023,754
当期変動額						
新株の発行	—	—	—	—	—	1,377,543
資本金から剰余金への振替	—	—	—	—	—	—
欠損填補	—	—	—	—	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	—	—	—	2,579,462
自己株式の取得	—	—	—	—	—	△1,191,563
自己株式の処分	—	—	—	—	—	—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△22,440	35,308	12,868	647,588	638,013	1,298,470
当期変動額合計	△22,440	35,308	12,868	647,588	638,013	4,063,913
当期末残高	△22,440	40,430	17,990	1,212,679	664,209	5,087,668

当連結会計年度(自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)

(単位：千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	2,078,622	1,055,236	1,297,734	△1,238,805	3,192,787
当期変動額					
新株の発行	82,136	82,136	—	—	164,273
資本金から剰余金への振替	△1,978,622	1,978,622	—	—	—
欠損填補	—	△2,516,280	2,516,280	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	1,441,952	—	1,441,952
自己株式の取得	—	—	—	—	—
自己株式の処分	—	23,374	—	36,743	60,117
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	—	—	—	—	—
当期変動額合計	△1,896,485	△432,147	3,958,232	36,743	1,666,342
当期末残高	182,136	623,088	5,255,967	△1,202,062	4,859,130

	その他の包括利益累計額			新株予約権	非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計			
当期首残高	△22,440	40,430	17,990	1,212,679	664,209	5,087,668
当期変動額						
新株の発行	—	—	—	—	—	164,273
資本金から剰余金への振替	—	—	—	—	—	—
欠損填補	—	—	—	—	—	—
親会社株主に帰属する当期純利益	—	—	—	—	—	1,441,952
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—
自己株式の処分	—	—	—	—	—	60,117
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	30,025	65,098	95,124	△128,740	31,883	△1,732
当期変動額合計	30,025	65,098	95,124	△128,740	31,883	1,664,609
当期末残高	7,585	105,529	113,114	1,083,939	696,093	6,752,278

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)	当連結会計年度 (自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	2,871,832	1,890,415
減価償却費	57,108	179,235
減損損失	—	131,664
株式報酬費用	1,394,640	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	12,775	△289,426
負ののれん発生益	△2,635,237	—
企業結合に係る特定勘定取崩益	△120,000	—
受取利息及び受取配当金	△24,617	△32,536
支払利息	41,697	55,902
為替差損益 (△は益)	△11,592	△1,599
持分法による投資損益 (△は益)	△2,982	△2,547
新株予約権発行費	2,238	—
固定資産売却損益 (△は益)	—	△135,398
固定資産除却損	2,714	633
匿名組合投資損失	70,275	58,208
関係会社株式評価損	91,065	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	25,575	15,153
投資有価証券売却益	△22,317	△10,000
売上債権の増減額 (△は増加)	503,091	247,392
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△36,423	12,496
未収入金の増減額 (△は増加)	△192,010	△228,144
仕入債務の増減額 (△は減少)	220,308	△79,376
未払金の増減額 (△は減少)	△33,403	△110,030
未払費用の増減額 (△は減少)	25,098	49,168
未収又は未払消費税等の増減額 (△は減少)	183,748	△325,071
未払法人税等の増減額 (△は減少)	12,530	△14,499
その他の資産の増減額 (△は増加)	48,300	△70,485
その他の負債の増減額 (△は減少)	58,610	51,455
小計	2,543,026	1,392,608
利息及び配当金の受取額	17,481	19,391
利息の支払額	△8,564	△10,539
法人税等の支払額	△22,085	△857,237
法人税等の還付額	8,599	24,861
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,538,458	569,085

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)	当連結会計年度 (自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△73,861	△91,349
無形固定資産の取得による支出	△784,933	△1,393,763
投資不動産の売却による収入	—	443,596
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	1,862,820	—
投資有価証券の取得による支出	△27,869	—
投資有価証券の売却による収入	102,849	10,000
保険積立金の解約による収入	—	156,959
短期貸付金の増減額 (△は増加)	—	108,362
長期貸付けによる支出	△310,007	△157,596
長期貸付金の回収による収入	192,867	252,652
その他	△5,061	△32,773
投資活動によるキャッシュ・フロー	956,803	△703,911
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	1,000,000	39,739
長期借入金の返済による支出	△108,000	△148,077
新株予約権の行使による株式の発行による収入	618,792	95,650
非支配株主からの払込みによる収入	330,000	46,090
その他	4,368	△1,642
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,845,160	31,760
現金及び現金同等物に係る換算差額	△16,363	57,562
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	5,324,058	△45,503
現金及び現金同等物の期首残高	1,056,055	6,380,114
現金及び現金同等物の期末残高	6,380,114	6,334,610

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(連結株主資本等変動計算書関係)

前連結会計期間(自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、2022年9月1日付で株式会社でらゲーの全株式を取得し、連結子会社としました。

この結果、当連結会計期間において、主に負ののれん発生益2,635,237千円を計上したことにより、前連結会計年度末に比べて利益剰余金が著しく増加しております。

また、連結子会社である株式会社でらゲーが当社株式を所有していたこと、及び単元未満株式の買取りにより、当連結会計期間において、自己株式が1,191,563千円増加し、当連結会計年度末において自己株式が1,238,805千円となっております。

また、当社は、2022年9月3日に連結子会社である株式会社でらゲーの取締役及び従業員並びに外部協力者に対し、割当てを行った第32回ストック・オプションとしての新株予約権の行使により、当連結会計期間において、資本金が688,771千円、資本剰余金が688,771千円増加し、当連結会計年度末において資本金が2,078,622千円、資本剰余金が1,055,236千円となっております。

当連結会計期間(自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、新株予約権の権利行使に伴う新株の発行及び自己株式の処分により、当連結会計期間において資本金が82,136千円増加し、資本剰余金が105,510千円増加し、自己株式が36,743千円減少しております。

また、2023年9月1日付で資本金及び資本準備金の額の減少並びに剰余金の処分を行ったことにより、資本金が1,978,622千円、資本剰余金が537,658千円それぞれ減少し、利益剰余金が2,516,280千円増加しました。

これらの結果、当連結会計年度末において、資本金は182,136千円、資本剰余金は623,088千円、自己株式は1,202,062千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

(1) 報告セグメントの決定方法

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定および業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっております。

当社グループは、事業領域別にセグメントを構成し、「ゲーム事業」、「動画配信関連事業」の2つを報告セグメントとしております。

(2) 各報告セグメントに属する製品及びサービスの種類

各報告セグメントの事業の概要は下記のとおりであります。

事業区分	事業の概要
ゲーム事業	スマートフォンゲームの開発・運営・受託、二次的著作物の企画・制作・販売・ライセンス許諾等
動画配信関連事業	ライブ配信プラットフォームの開発・運営、動画配信マネジメント・サポート、SNS広告等

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表作成のために採用している会計処理の方法と同一であります。報告セグメントの利益は、営業利益であります。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報及び収益の分解情報
前連結会計年度(自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	連結財務諸表 計上額
	ゲーム事業	動画配信 関連事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	6,599,273	364,163	6,963,436	—	6,963,436
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	6,599,273	364,163	6,963,436	—	6,963,436
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	6,599,273	364,163	6,963,436	—	6,963,436
セグメント利益又は損失(△)	309,143	△65,414	243,728	—	243,728
セグメント資産	2,900,056	76,925	2,976,981	10,515,490	13,492,471
その他の項目					
減価償却費	15,243	470	15,713	41,394	57,108
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	223,398	—	223,398	930	224,329

(注) 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント資産の調整額10,515,490千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は主として各報告セグメントに帰属しない、現金及び預金、投資その他の資産であります。

当連結会計年度(自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注)	連結財務諸表 計上額
	ゲーム事業	動画配信 関連事業	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	12,026,567	247,633	12,274,200	—	12,274,200
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	12,026,567	247,633	12,274,200	—	12,274,200
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	12,026,567	247,633	12,274,200	—	12,274,200
セグメント利益又は損失(△)	1,938,159	△67,694	1,870,464	—	1,870,464
セグメント資産	4,547,280	68,409	4,615,690	9,741,546	14,357,237
その他の項目					
減価償却費	101,066	802	101,868	77,367	179,235
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	3,284,162	5,106	3,289,268	453,450	3,742,719

(注) 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント資産の調整額9,741,546千円は、各報告セグメントに配分していない全社資産であります。全社資産は主として各報告セグメントに帰属しない、現金及び預金、投資その他の資産であります。

【関連情報】

前連結会計年度(自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産が、連結貸借対照表の有形固定資産の10%未満であるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社MIXI	4,418,611	ゲーム事業
Apple Inc.	1,252,480	ゲーム事業
Google LLC	680,381	ゲーム事業及び動画配信関連事業

(注) Apple Inc.及びGoogle LLCはプラットフォーム提供会社であり、同社に対する販売実績は、当社グループが提供するゲームサービスの利用者（一般ユーザー）に対する利用料等であります。

当連結会計年度(自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 売上高

本邦の外部顧客への売上高が連結損益計算書の売上高の90%を超えるため、記載を省略しております。

(2) 有形固定資産

本邦以外に所在している有形固定資産が、連結貸借対照表の有形固定資産の10%未満であるため、記載を省略しております。

3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
株式会社MIXI	7,450,541	ゲーム事業
Apple Inc.	2,985,004	ゲーム事業
Google LLC	1,383,935	ゲーム事業及び動画配信関連事業

(注) Apple Inc.及びGoogle LLCはプラットフォーム提供会社であり、同社に対する販売実績は、当社グループが提供するゲームサービスの利用者（一般ユーザー）に対する利用料等であります。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度(自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント			全社・消去	合計
	ゲーム事業	動画配信 関連事業	計		
減損損失	130,744	920	131,664	—	131,664

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度(自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度(自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)

該当事項はありません。

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度(自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)

第2四半期連結会計期間において、株式会社でらゲーの全株式を取得し、連結子会社としたことにより、負ののれん発生益を2,635,237千円計上しております。

なお、第2四半期連結会計期間において暫定的な会計処理を行ってりましたが、当連結会計年度末に確定しております。この結果、暫定的に算定された負ののれん発生益の金額2,939,446千円は、会計処理の確定により、304,208千円減少し、2,635,237千円となりました。

また、特別利益に計上しているため、報告セグメントには配分しておりません。

当連結会計年度(自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)		当連結会計年度 (自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)	
1株当たり純資産額	542円61銭	1株当たり純資産額	825円24銭
1株当たり当期純利益	462円57銭	1株当たり当期純利益	240円44銭
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	418円05銭	潜在株式調整後1株当たり当期純利益	219円22銭

(注) 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前連結会計年度 (自 2022年6月1日 至 2023年5月31日)	当連結会計年度 (自 2023年6月1日 至 2024年5月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	2,579,462	1,441,952
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	2,579,462	1,441,952
普通株式の期中平均株式数(株)	5,576,369	5,997,195
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
普通株式増加数(株)	593,927	580,501
(うち新株予約権)(株)	(593,927)	(580,501)

(重要な後発事象)

(取得による企業結合)

当社は、2024年5月20日開催の取締役会において、株式会社サクセスプラスの全株式を取得し、子会社化に向けた基本合意書に関する決議をいたしました。これにより、2024年6月24日付で株式会社サクセスプラスの株主との間で、株式譲渡契約を締結し、2024年6月28日に株式を取得いたしました。

1. 企業結合の概要

①被取得企業の概要

被取得企業の名称 株式会社サクセスプラス

事業の内容

1. コンピュータソフトウェアの企画、開発、販売、賃貸、輸出入
2. インターネットを利用したホームページの企画、開発、販売、運営
3. コンピュータソフトウェア著作権の管理、使用許諾、輸出入、販売

②企業結合を行った主な理由

株式会社サクセスプラスが、大手企業からの継続的な受注を獲得していることから、連結グループに加えた場合に、当社グループの安定的な成長に資するものであると考えたためであります。

③企業結合日

2024年6月28日

④企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

⑤企業結合後の企業の名称

変更はありません。

⑥取得する議決権比率

100%

⑦取得企業を決定するに至った根拠

当社が現金を対価として株式を取得することによります。

2. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価（現金） 232百万円

取得原価 232百万円

3. アドバイザリー他に対する報酬・手数料等

17百万円

4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却の方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

5. 企業結合日に受け入れる資産及び引き受ける負債の額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。

6. 支払資金の調達及び支払方法

自己資金及び銀行からの借入による充当を予定しております。

(投資に係る重要な事象)

当社グループが出資している匿名組合契約につきまして、2024年8月14日付で清算とともに分配金の受領を予定しております。このため、翌連結会計年度に営業外収益223,937千円を計上する見込みであります。